

○1歳6か月～2歳頃のこどもの様子

こどもの発達のパースは一人ひとりで様々で、発達の仕方に正解・不正解はありません。「その子らしさ」を見つけて、今しかない時間を丁寧に過ごしましょう。



1歳6か月～2歳頃には

○「ママ・わんわん・まんま・くっく・ちゃ（茶）」など、身の回りの物、よく使うものの言葉が増えます。

また、「まんま」⇒「まんま ちょうだい」「まんま おいしい」

「わんわん」⇒「わんわん いた!」「わんわん おっかい!」

「ママ」⇒「ママ こっち」「ママ きて」

など、一語に込めていた様々な気持ちが二語になることで、よりはっきりと伝えられるようになります。

○体の使い方も上手になって、走ったり、ジャンプができるようになります。

○人形やぬいぐるみのお世話や食べさせるまね、ままごと遊びなど、想像力を働かせて遊ぶ「ごっこ遊び」が楽しめるようになります。

○スプーンやフォークが少しずつ上手になり、自分で食べたがるようになります。

この時期のこどもの成長に大切なこと

○言葉をかけるコツ

- ・はっきり・ゆっくり話しかける。
- ・「おはよう」「おやすみ」「いただきます」「ありがとう」「ばいばい」など行動の節目に決まった言葉をかける。
- ・「ひょうきだね!」「わんわんだね!」
こどもの興味が向いている時に、そのものの名前をはっきり言う。
- ・「タッチして」「ばんざいして」「ねんねしよう」
こどもの行動に合わせて、動作を表すことば（動詞）を添える。
- ・「おいしいね!」「嬉しいね!」「痛かったね」など
こどもの気持ちを言葉で表す。



○禁止や否定ではなく、肯定的な誘いかけを!

「机にのぼったらダメ!」⇒「降りようね」

「(食事中に) ウロウロしないで!」⇒「座って食べようね」

してほしくないことを注意するのではなく、してほしいことの行動を言葉で伝えましょう。

○こどもと一緒に楽しいことをする

一日に短時間でもよいので、『こどもが声を出して笑う遊び』を一緒にしてみましょう。

嬉しい成長の一方で、「自分でしたい!」「こんなふうになりたい!」という自己主張も激しくなる時期です。毎日の育児で手を焼くことも増えてきますよね。育児でお悩みのことがありましたら、当課までご相談ください!